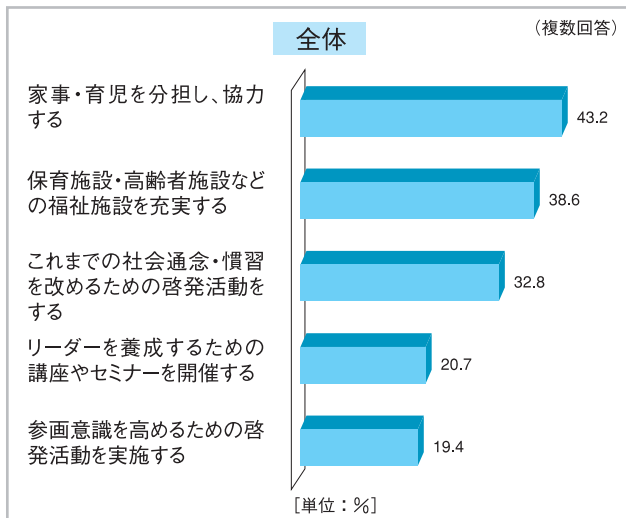


7

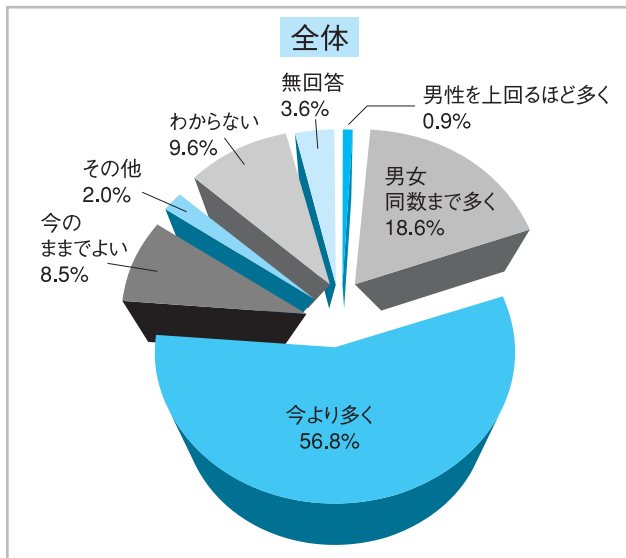
社会活動や地域活動で、女性がリーダーになって計画作りや方針を決める場に「参画」するためには、どのようなことが必要だと思いますか？



「家事・育児を分担し、協力する」と答えた人の割合が一番多く43.2%で、次に「保育施設・高齢者施設などの福祉施設を充実させる」が38.6%、「これまでの社会通念・慣習を改めるための啓発活動をする」が32.8%という順番になっています。

8

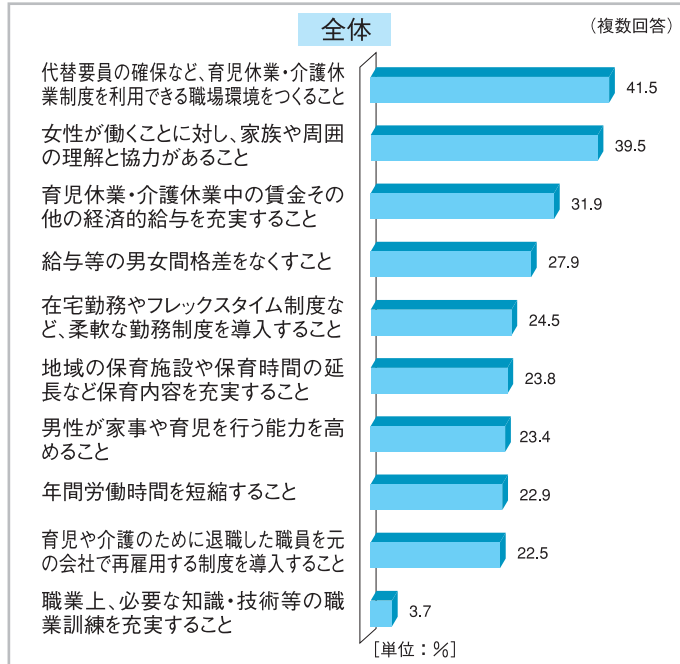
現在寄居町では、政策決定の場である審議会などの女性委員の割合は11.5%です(平成20年4月1日現在)。町の女性委員数について、あなたはどのように思いますか？



女性の委員数は、「今より多く」「男女同数まで多く」「男性を上回るほど多く」の合計が76.3%で、増えたほうがよいと考えている人の割合が非常に高くなっています。その他の回答では、「男女の数にこだわることなく、適任者になってほしい」と望む声が多くありました。

5

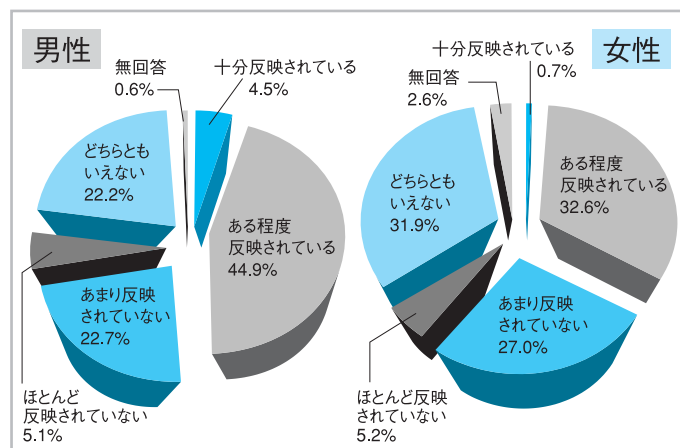
男女がともに仕事と家事の両立をしていくためには、どのような条件が必要だと思いますか？



仕事と家事を両立するには、「代替要員の確保など、育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境をつくること」と答えた人が41.5%と最も高く、次に「女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること」が39.5%、「育児休業・介護休業中の賃金その他の経済的給与を充実すること」が31.9%の順に割合が高く、労働環境や育児環境のさらなる整備を求める声の多いことがうかがえます。前回の調査で2番目だった「育児や介護のために退職した職員を元の会社で再雇用する制度を導入すること」が今回の調査では9番目になり、前回の調査では設問になかった「女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること」が今回の調査では2番目に入っているのが特徴で、再雇用制度改善より家族等の理解・協力が重要という結果となりました。

6

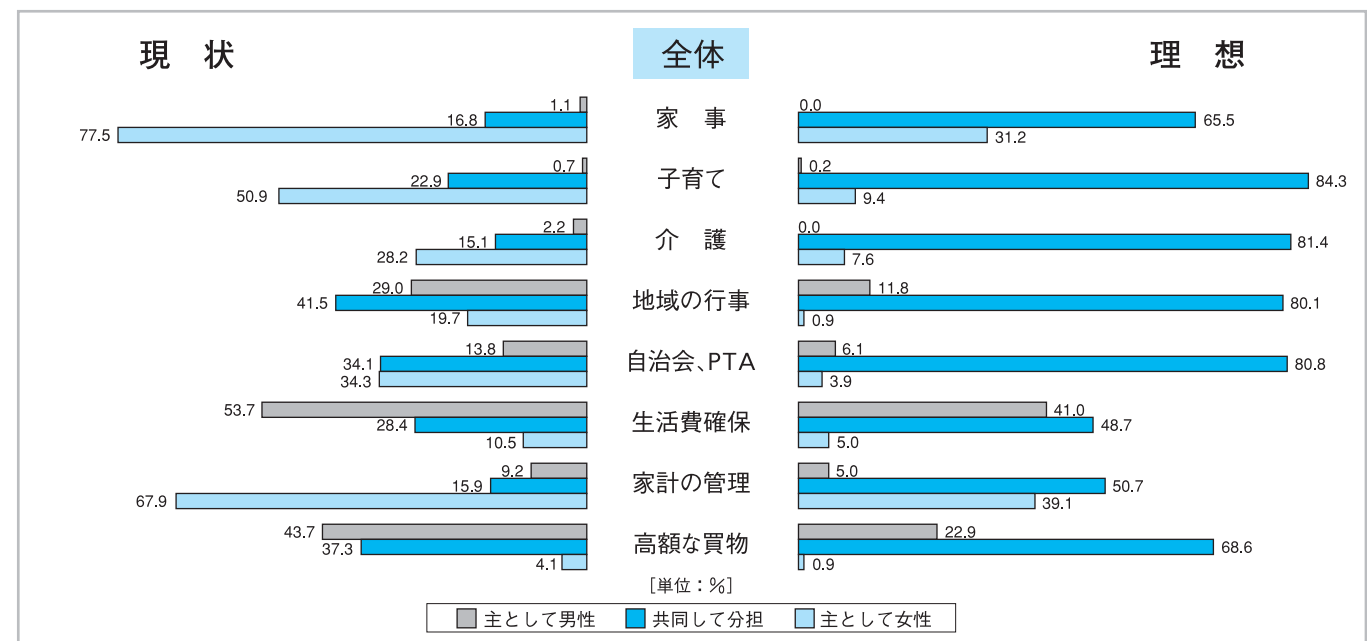
あなたは、地方自治体(県や市町村)などの施策について、女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか？



男女ともに「ある程度反映されている」と答えた人の割合が高くなっていますが、「十分反映されている」「ある程度反映されている」の合計の差が、男女で16.1ポイントあり、女性のほうが、「反映されていない」と感じているようです。

3

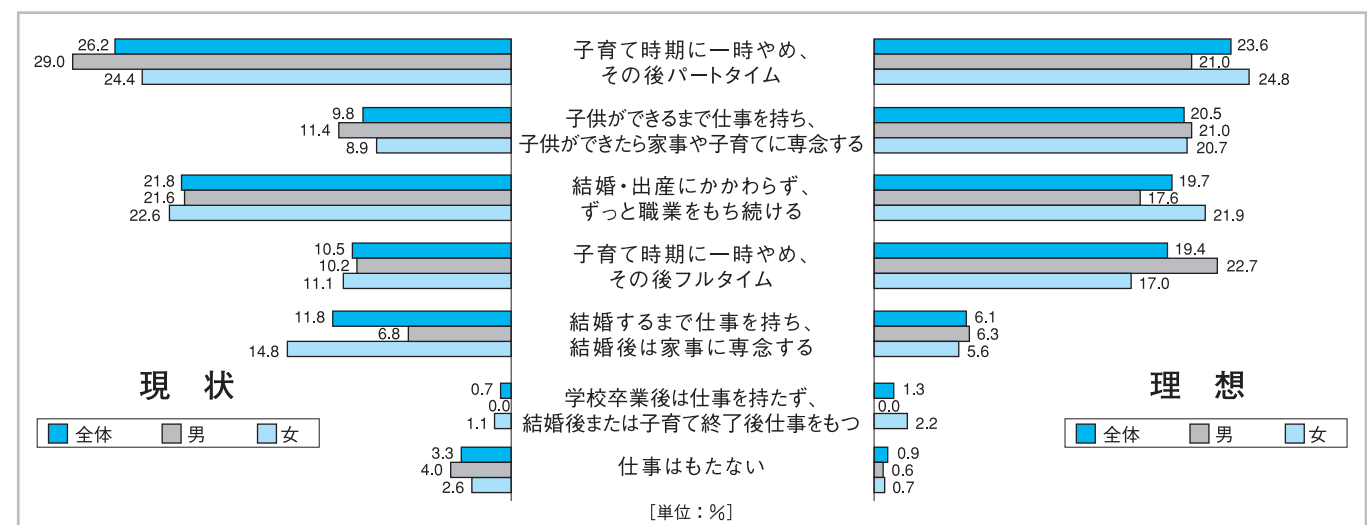
あなたの家庭での次のことについて、主にどなたが行っていますか？また、これらについて主に男性、女性のどちらが担う方がよいと思いますか？



炊事、洗濯、掃除などの家事や子育て、介護や地域活動への参加など8項目の役割分担について、現状と理想を調査しました。現状では、家事、子育て、介護や家計の管理については主に女性が行い、地域の行事への参加や生活費の確保については主に男性が行っている家庭が多いようです。理想では、男女が共同して分担することが望ましいと考えている結果となりました。

4

女性の働き方について、理想はどうあるべきだと思いますか？また、実際にはどうですか？



男性は、現状では「子育て時期に一時やめ、その後パートタイム」が29.0%で、「結婚・出産にかかわらず、ずっと職業をもち続ける」が21.6%という順番になり、理想とは異なっています。男性の理想では、「子育て時期に一時やめ、その後フルタイム」が22.7%で1番でしたが、現実では、1割程度であることがわかりました。女性は「子育て時期に一時やめ、その後パートタイム」が24.4%で、「結婚・出産にかかわらず、ずっと職業をもち続ける」が22.6%と理想と同じ順番になっています。また、「仕事はもたない」は、理想では1%以下で女性の仕事に対する意欲や周りの期待の大きさがうかがえます。理想について、前回と今回の調査結果を対比すると、全体で見ても、順位はほとんど変わらないのですが、前回7.3%でしかなかった「子供ができるまで仕事を持ち、子供ができたら家事や子育てに専念する」が今回20.5%と急激に上昇し、2番目に入ったことが特徴的です。